

一般社団法人 日本小児血液・がん学会  
第71回理事会議事録

日時:令和5年3月24日(金) 15:00~17:00

開催:ZOOMによるWEB会議

出席者:大賀 正一(理事長)、菱木 知郎、真部 淳(第65回学術集會会長)小川 千登世、  
奥山 宏臣、塩飽 仁、多賀 崇、高橋 義行、滝 智彦、藤 浩、家原 知子、大植 孝治、  
加藤 元博、木下 義晶、富澤 大輔、山崎 文之、義岡 孝子(以上理事)  
堀 浩樹(以上監事)

越永従道(第64回学術集會会長)足立、壮一(第66回学術集會会長)

欠席者:余谷 暢之(以上理事)、瀧本 康史(以上監事)

冒頭に、本日の理事出席者数は理事18名中17名であり、定款施行細則第8条第3項に定める成立定足数を充たしているため、本理事会は成立することを確認し、理事大賀 正一は議長となり、議長席に着き審議に入った。

#### I. 前回理事会議事録(案)の確認

議長より、前回議事録(案)が示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

#### II 審議事項

##### 1. 利益相反申告書のWEB申告化について

利益相反委員会の奥山担当理事より、申告書のWEB形式への変更について資料と共に示された。一次申告はGoogleフォームを使用したWEB申請となり、二次申告対象者のみが別途紙の申告書を提出することが異議なく承認された。

##### 2. 入会申請者の件

庶務・財務委員会の菱木担当理事より、現在の会員数の報告とともに、入会申請者が示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

##### 3. 各賞の規約について

学会賞等選考委員会の加藤担当理事より、学会賞等選考委員会にて審議の後、規約委員会にて承認された、学術賞規約改正、小児がん病態研究学術奨励賞規約制定、大谷賞規約制定について資料と共に示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

##### 4. 学術集會抄録集のアプリ会社選定について

庶務・財務委員会 菱木担当理事より、抄録集のペーパーレスに伴い、3社のWEB抄録・アプリ抄録会社3社について見積書とともに資料が示され、議場にその承認が求められたところ、抄録アプリ普及会合同会社に決定することが異議なく承認された。紙媒体の印刷は廃止とし、学術集會当日はポケットサイズのプログラム集を作成・配布することとする。

なお、契約・費用負担は学会本体にて行いまず3年間の初期契約(日英版)とし、アプリへのアップロードについては運営事務局・印刷会社にて行うこと、また、アプリへの広告収入については大会校の収入とすることが承認された。

##### 5. 接種歴のある移植患者の移植後コロナワクチンについて

大賀理事長より、コロナワクチンの接種について小児科学会の予防接種委員会に相談した結果、「成人」が承認されて以降、「小児」に関する対応について検討することが提案された。

##### 6. がんゲノム医療に関する包括契約について

教育研修委員会の大植担当理事より、「がんゲノム医療に関する包括契約(主に地区セミナー)」についてバイエル薬品株式会社との包括契約について議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

認された。

#### 7.小児がんに関する資料の提供について

長期フォローアップ移行期医療検討委員会が作成した小児がんに関する資料(e-learning)の院内がん登録実務者の教育用資料としての使用依頼を受け、今後、「院内がん登録の実務者研修に限る」という条件付きで承諾することが示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

#### 8.学術集会特別会計について

第64回学術集会の越永会長より、学術集会の余剰金の計上について今後の学術集会の援助金とするため、一般会計の中で「学術集会積立」とし他の収支項目とは別立てにすることが提案され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。第62回、63回は研究基金としての使用がすでに承認されているが、今後学術集会終了ごとに理事会で取り扱いを検討することが承認された。

#### 9.先天性骨髄不全症診療ガイドラインの改定版の学会承認について

先天性骨髄不全症診療ガイドラインの学会承認について、診療ガイドライン委員会の審議及びパブリックコメントによる修正を経た改訂版が示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

#### 10.2023年度「公益信託日本白血病研究基金」学会推薦について

公益信託日本白血病研究基金の学会推薦枠について、4月14日までに推薦を受け付け、その後持ち回り審議で推薦者を選定することとなった。

#### 11.学会支援機構事務局業務委託契約書・覚書について

学会支援機構への事務局業務の委託契約について資料と共に示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

#### 12.サブスペシャリティの認定について

研究審査委員会の家原担当理事より、研究審査に関する下記について資料と共に示された。

##### (1)疾患登録データ二次利用研究を含む小児血液・がん学会の研究審査の提出に関する注意点の周知などについて

疾患登録データ二次利用研究を含む小児血液・がん学会の研究審査の提出については、提案の通り、会員へのメールニュースでの周知を行うことが承認された。また、研究審査委委員会の内規では、学会登録データの二次利用を行う研究の場合、研究代表者は、先に学術・調査委員会の承認を得た後に「学術調査委員会の疾患登録データ二次利用 審査結果通知書」を研究審査委員会に提出し審査後に理事会承認が必要となっている。今後、現状通り「理事会承認」とするか、もしくは「理事会報告」と変更するかについては、現在学術・調査委員会で検討中の「20歳未満に発症する血液疾患と小児がんに関する疫学研究 実施計画書」の改訂作業と併せて見直しを行うことが確認された。

##### (2)疾患登録データ二次利用研究の場合の情報公開の在り方について

疾患登録については、「20歳未満に発症する血液疾患と小児がんに関する疫学研究 実施計画書」にも記載のある通り、データ利用を前提に症例登録を行っているため、今後は該当する研究については、二次利用申請の承認後、学会ホームページの「疾患登録」ページの一覧表に、研究の研究名を掲載することが承認された。

##### (3)疾患登録データ二次利用研究の場合のデータ提供方法の在り方について

これまで疾患登録データの提供方法と手順について基準が明確でない点があるため、今後、学術・調査委員会との調整することとなった。

##### (4)小児血液・がん学会員(施設)を対象とした調査研究の在り方について

アンケート調査等が生じる研究の場合の対応について、学会員の連絡先を研究者に提供することはできないため、委員会が窓口となりアンケート調査の依頼を委員会が窓口として受け、理事会

審議を諮ることが確認された。

### Ⅲ. 報告事項

#### 1. 第65回日本小児血液・がん学会学術集会報告

真部会長より、抄録集のアプリ移行に伴い、大会の演題登録延期することが報告された。なお、学生の扱いについては定款施工細則の(学術集会)第9条2「学術大会での筆頭演者は本学会の会員であることを必要とする。但し、学生の場合は評議員の推薦があればこの限りではない。」の通り、評議員の推薦があれば演題登録を可とすることが確認された。

#### 2. 委員会報告

##### 1) 規約委員会報告

規約委員会の滝担当理事より、学術集会での学生会員の扱いについては定款施行細則に記載がある通りとなるが、今後の本会での会員種別について、「学生会員」を設けるかについての提案がなされた。また、定款施行細則に記載のある「準会員」の扱いについて、今後確認する必要がある旨についても確認された。

##### 2) 学術集会プログラム委員会報告

家原担当理事より、第65回日本小児血液・がん学会学術集会準備状況について、9月29日～10月1日-10/1に行われる学術集会に向けて、下記の通り現地実行委員会と共同で、シンポジウム、要望演題、教育講演(オンデマンド配信)などの準備を行っていることが報告された。

##### 3) 診療ガイドライン委員会報告

多賀担当理事より、小児白血病・リンパ腫診療ガイドラインおよび小児がん診療ガイドライン2016年版改訂に伴い、成育医療研究センターの文献検索料金確定の他、進捗状況について資料に示され、令和5年秋の完成を目指して引き続き改訂作業を進めることが報告された。

##### 4) 保険診療委員会報告

小川担当理事より下記について報告された。

- ・ロイコボリン注3mg 供給状況に関する第2報について
- ・日本血液学会より依頼のリツキシマブの AIHA に関する厚労省への開発要望書について

##### 5) 学術・調査委員会報告

木下担当理事より、2022年の活動として、「症例登録事業の集計と公開」、「疾患登録年次報告体制の整備」、「症例登録事業の倫理審査体制の管理」、「COVID-19 に関するガイダンス、関連論文の調査、HP での情報提供」、「関連研究班との事業」、「疾患登録データ利用申請への対応」、「複数学会での共同研究依頼への対応」について報告された。

また、2023年の活動計画として、「症例登録事業の2022年度の集計と公開」、「2022年登録集計を学術集会報告および HP にて公開」、「固形腫瘍、血液腫瘍登録症例の年次報告の作成と公開」「症例登録事業の倫理審査体制の管理」「COVID19 関連の HP での情報公開の継続」「関連班研究との連携」「疾患登録データ利用申請への対応」が挙げられた。

特に「登録事業の現状把握と課題の整理」については固形、血液腫瘍、非血液疾患でグループをわけて取り組んでいくことが優先すべき事案であることが報告された。

#### 3. その他委員会報告

##### 1) 長期フォローアップ・移行期医療委員会

大賀理事長より、厚生労働省より令和5年度の本事業の継続について承認され、これに伴い、LCAS 研修も継続となることが報告された。

##### 2) 女性医師活躍支援委員会

大賀理事長より、本年の第65回学術集会にてシンポジウムなどを企画していることが報告された。

#### IV.理事長報告

##### 1)SIOP ASIA の開催について

SIOP ASIA の開催地候補地として、横浜が上がっていることが報告された。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、出席した理事長及び監事がこれに記名押印又は署名する。

令和5年3月24日

日本小児血液・がん学会 第71回理事会

理事長 大賀正一

監事 堀浩樹